

令和2年2月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の令和2年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.64倍となり、前月より0.01ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.71倍となり、前月より0.19ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 2月の新規求人数(季節調整値)は前月比3.9%増となり、有効求人数(同)は前月比1.9%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比3.5%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.2%減となった。
- 2月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると14.1%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比3.8%減)、製造業(同25.0%減)、情報通信業(同14.7%減)、運輸業、郵便業(同8.8%減)、卸売業、小売業(同19.3%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同23.0%減)、宿泊業、飲食サービス業(同7.5%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同22.2%減)、教育、学習支援業(同0.9%減)、医療、福祉(同10.5%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同17.2%減)となった。

